

2009 年度事業計画

当協会は、インターネット関連事業を行なっている事業者団体として、インターネット普及・発展の活動を活発に行っており、その活動の重要性はますます高くなってきています。

本年度は、前年度より引き続き IPv6 時代に向けて、会員への適切な情報提供と問題解決の支援を行っていきます。そして JAIPA 会員の健全な経済活動を支える様努力していきます。また、消費者保護の流れの中、インターネット業界に関して、積極的に理解してもらう努力も行っていきます。必要及び重要な協議会への、協会理事を中心とした会員の積極的な参加、そして協会の中心となる部会活動の積極的な展開と横断的な協会活動を前年以上に推進していきます。また、特殊法人改革に伴う法律改正で、社団法人から一般社団法人への移行も速やかに行なっていきます。

協会活動計画

協会全体としての、2009 年度の活動計画は次の通りです。

1. NTT 東西の NGN を利用した IPv6 インターネット接続サービスの実現にむけて、総務省が行なう NTT の約款認可申請に関する意見書に意見を提出し、ISP にとり公平かつ公正な制度の実現に寄与する。案 2 方式の実現にむけて仕様の詳細を検討し、IPv4 枯渇対応タスクフォースのアクセス WG の運営を通じ、NTT 以外のアクセス網における IPv6 インターネットサービスに関する情報を共有する。総務省の ICT ビジョン懇談会基本戦略 WG などの活動を通じ、政府の情報通信政策に ISP の意見を反映させる活動を行なう。
2. 総務省の「情報通信分野におけるエコロジー対応に関する研究会」報告書を踏まえ、本年度は通信事業者 4 団体及び通信機器等のメーカーと連携し、「エコロジーガイドライン策定に関する協議会（仮）」へ参画し、業界としての CO2 削減に寄与していく。また協会としても、自主行動計画を作成し、協会員と共に CO2 削減に関しての普及啓蒙並びに行動を積極的に行っていく。
3. 総務省を中心とした「安心ネットづくり促進協議会」への積極的な参加を中心に、「e ネットキャラバン」やその他、安全・安心なインターネット利用に関しての普及啓蒙活動並びに、インターネット事業者の様々な活動への理解を深めてもらう努力を行っていく。
4. 電気通信サービス向上推進協議会では今までの行ってきた広告表示自主基準を中心に昨年度に電気通信サービスにおける利用者利益の確保・向上策が取りまとめられたことから、電気通信事業者団体として会員事業者に周知、さらなる取組を進める事と

- する。
5. ICANN の IDN-ccTLD 導入が進展し、日本においては情報通信審議会インターネット基盤委員会が検討し、「.日本」の導入が適当と結論。7月に答申される報告書に盛り込まれる予定。民間中心で展開されてきたインターネットであるため、「.日本」を行うレジストリの事業者選定についても民間主導で行うことが適当とされた。今後本件について、検討を進めていく。
 6. インターネットに関連する行政機関等の意見募集に対し JAIPA としての意見書を提出する。
 7. 総務省や他の省庁、および関連団体等主催の連絡会、懇談会等に参加し、施策や法案及びガイドライン作成等に ISP としての意見の反映を行う。
 8. 消費生活センター等、行政の消費者相談窓口とのネットワークを構築し、インターネット業界特有の問題を積極的に理解してもらい、適切な消費者保護の方法論を考えていく。
 9. 衛星インターネット推進協議会に参加して、デジタル・デバイド解消のために衛星インターネットの普及を図る。
 10. 「情報通信月間推進協議会」に参加して情報通信の普及・振興を図る活動に協力する。
 11. インターネットの利用実態に関する調査研究を行う。
 12. 安全・安心マークの運用とマーク取得企業の拡大促進を行う。
 13. ニュース・サーバ共同利用の運営を行う
 14. 会員向け広報活動として「JAIPA Express」の発行を行う。

部会活動計画

1. 行政法律部会

部会長	木村 孝	ニフティ株式会社
副部会長	野口 尚志	EditNet 株式会社
副部会長	吉井 一雄	NTT コミュニケーションズ株式会社

当部会では、ISP やホスティングサービス事業者に係わる法律上及び行政上の諸問題に対して、行政庁との連携や協会会員への情報提供などを活動の中心として参ります。

昨年の「特定電子メールの送信の適正化等に関する法律」「特定商取引に関する法律」の改正、「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律」の制定をはじめ、プロバイダ責任制限法各種ガイドラインの整備などインターネット上の行為に関する法制度が徐々に整いつつありますが、日々予想外の問題が発生してきております。また総務省主催の「電気通信サービス利用者懇談会」より報告書が公表され、「安心ネットづくり促進協議会」が（財）マルチメディア振興センターが事務局となり 2 月に設立されました。普及啓発をはじめ児童ポルノ、フィルタリングレイティングの作業部会も立ち上がり、今後も青少年への対応が検討されることは大きな課題になってきています。一方「インターネット上の違法・有害情報に対する検討会」の報告書により、電気通信サービス向上推進協議会のもと、今後事業者としてどう対応すべきかワーキンググループが立ち上がったところですが、このような案件に迅速、且つ適切に対応するため関係省庁とも連携を図りながら、利用者の皆さんの安全・安心な利用とインターネット業界の適正な発展を目指して取り組んでいきたいと考えております。

そして、事業者団体を中心になって活動をしている会議や、総務省主催の会議が多数有り、本部会の主要メンバーが参加していることから、昨年に引き続きそこでの活動を部会の皆様方にお知らせし、意見交換を行い、勉強会などを開催し、行政等に意見をまとめて発信したいと考えております。当部会が取り組みたい案件は山積みになっておりますが、ぜひ皆様にもご参加いただき、ご意見やご提案をいただきたくご協力をお願いいたします。

今後の活動予定

■ 法律勉強会・意見交換会の開催

- ・ 現行の法制度についての実務上の課題、現在取り上げられている案件についての検討状況報告と意見交換。講師を招いての勉強会も行う。

■ 「インターネット上の法律勉強会」の開催

- ・ 1 年間の活動や問題点等を講演やパネルディスカッションを通じて、情報提供や議論を

行うと共に JAIPA の活動を広く認知させる。

■ その他の活動

- ・ 「プロバイダ責任制限法ガイドライン検討協議会」
「著作権関係 WG」、「名誉毀損・プライバシー関係 WG」、「商標権 WG」、「発信者情報開示関係 WG」にそれぞれ参加。発信者情報開示関係においては、ガイドラインを策定
- ・ 「インターネット上の違法・有害情報への対応に関する研究会」
- ・ 「電気通信事業分野におけるプライバシー情報に関する懇談会」
- ・ 「プロバイダによる本人確認の在り方に関する連絡会」
- ・ 「ファイル共有ソフトを悪用した著作権侵害対策協議会」
- ・ 「フィルタリングの普及啓発アクションプラン」
- ・ その他、多数の会議に出席し、協会内での情報共有をしていく。

2. 地域 ISP 部会

部会長	晋山 孝善	株式会社仙南情報技術センター
副部会長	鎌倉 忍	ディーシーエヌ株式会社
副部会長	横田 洋人	株式会社マイメディア
副部会長	高橋 佑至	株式会社ネットフォレスト

当部会は、地域で ISP を行っている事業者を中心として活動しています。当協会会議室で行っている月 1 回の部会では、遠方からも毎月多数参加していただき意見交換を含めた情報共有をしております。また、この部会に参加できないところでも積極的に参加できるように毎年 2~3 回の「地域 ISP の集い」を開催し、毎月の会議で課題に上がったものを検討し、ディスカッションをして解決策を見出しております。集いではその開催地での問題点や新しい取り組み等を紹介していただき、常に各地域の情報交換を行っております。

ここ数年、NGN 接続に対する問題が ISP を悩ませておりますが、総務省・NTT 東西との協議や総務省主催の会議でインターネット上の違法・有害情報への対応、安心ネットづくり促進協議会の発足等、重要な案件があがってきています。JAIPA が参加している会議等の新しい情報を毎月の部会で説明、様々な方面で検討をしたいと考えております。その他にも毎月の会議にてそれぞれの会社の取り組みやインターネット上で流行っているもの、現在問題になっているものをピックアップしてメンバーが講師をするミニ勉強会を今後も続けていきたいと考えております。本年度も今までの活動を継続しつつ、さらに密度の濃い交流の場として「集い」を開催いたしますので、ぜひ皆様ご参加ください。

今後の活動予定

- 地域 ISP の集い
 - ・ 毎年行われている「地域 ISP の集い」を行い、普段なかなか参加できない方々との情報交換と地域の問題などを検討する場所を提供。
- 各種勉強会
 - ・ 毎月、メンバーが講師を担当する「ミニ勉強会」の開催
 - ・ NGN、IPv6 関係の勉強会、各種重要案件の説明会、意見交換会の開催
- 「技術交流分科会」と地域 ISP 部会との意見交換会
- 共同利用の充実

3. ホスティング部会

部会長	青山 満	GMO ホスティング&セキュリティ株式会社
副部会長	村越 裕之	コスモメディア株式会社
副部会長	田中 邦裕	さくらインターネット株式会社

インターネットの日常社会への浸透が進み、利用者数の増加だけでなく、その利用形態も情報収集だけでなく、コミュニティへの参加、情報の発信など、幅を広げています。このような状況下において、ホスティング事業も急速な発展を続けており、サービスに対する要求もますます大きくなっています。

本年度は、毎年恒例となったビジネス交流イベント「HOSTING-PRO」などへの参加を通して、今後ホスティング事業者全体が考え、取り組んでいかなければならない課題や問題点を洗い出し、業界全体の更なる発展を目指したいと考えております。

加えて、部会参加企業に限らず、会員全体を対象とした勉強会を開催し、セキュリティの確保やサービスの安定的な提供、新しいサービスへの取り組みなどについて、ホスティングサービスの最新の情報を共有し、お互いのレベルアップと交流の促進を図っていきます。

また、ホスティング事業は、インターネットを提供する事業者（インターネットプロバイダー）の中でも、経済的にも顧客数的にも大きな割合を占め、さらなる発展が見込まれる事業者でありながら、社会的な面での認知度はまだまだ小さいものであると言わざるを得ません。また、官庁の間での認識も低く、さらに、JAIPA がホスティング事業についての活動を行っているということも知られていません。いまだ遅れている法整備や税制などにもきちんと事業者としての意見を出すためにも、早期に解消すべき問題と考えています。

さらに、一般に対する周知啓発活動の一環として、昨年度まで整備してきたホスティング関連用語の解説 Web コンテンツを活用し、オンラインメディアへのコンテンツ提供など、効果的な露出を図っていく予定です。また、Wikipedia などインターネット上での情報源におけるホスティングサービス関連用語の説明についても目をむけ、内容の充実と適正化を進めていきたいと考えております。

今後の活動予定

- ホスティング事業全般の現状分析、調査活動を行い、その状況を説明し、同時に一般への啓蒙活動を行う。
- ホスティング事業者向け勉強会の開催
- 「HOSTING-PRO 2009」への参加

4. ユーザー利用促進部会

部会長	持麿 裕之	NEC ビッグロープ株式会社
副部会長	戸邊 照雄	ニフティ株式会社
副部会長	辻中 伸生	KDDI 株式会社
副部会長	安江 律文	株式会社 NTT ぷらら

ブロードバンド化は急速に拡大していますが、現在のインターネット市場をみると二つの課題があるのではと考えています。

ひとつは、市場全体が伸び悩んでいることです。特にシニア層の普及がなかなか進まない現状があることから、当部会では同じ世代で利用されている方々の事例等を紹介することで、利用の弾みになればと考え、昨年度「シニアのインターネット活用コンテスト」を実施しました。本コンテストへの応募事例や入賞者のアンケートを通じて、シニア層のインターネット利用に関する生情報を収集できましたので、今年度はこれらをベースにより多くのユーザーへの利用拡大に必要な条件を抽出して対応策を検討していきます。

もうひとつは、インターネットによる様々なトラブルに巻き込まれることが多くなってきていることです。そのためにインターネットを敬遠する声も聞こえてきています。利用者がインターネットの便利さ楽しさなどを体験できるとともにインターネットを活用する上でトラブルに巻き込まれないような啓発は重要と考え、現在当協会ホームページにある Web 「インターネットを楽しむために」や、「著作権を楽しもう！」について、誰に何を発信していくかを再検討し、内容の見直しを行っていきます。

今後は、他部会との交流も含め、勉強会を行い会員相互の情報交換の場をもっと設けられるようにしていきたいと思っています。インターネットのさらなる発展のため、このような活動にご興味のある方、同じ問題意識を持たれている方のご参加をお待ちしております。

今後の活動予定

■ シニア向けのインターネット利用促進

「シニアのインターネット活用コンテスト」の応募事例や入賞者のアンケートを通じて収集した生情報等をベースに、より多くのユーザーへの利用拡大に必要な条件を抽出して対応策を検討。

■ 『安全・安心』をコンセプトに

利用者がインターネットを安心して利用できるための活動。「インターネットを楽しむために」、「著作権を楽しもう！」等、当協会ホームページの関連 Web の全面的改訂

■ インターネットのさらなる発展のため部会員および協会員が興味のあるもしくは、現在注目されている技術やサービスに関する勉強会を適宜開催し、多様なサービスや新たなビジネスモデルの開拓・展開に寄与していく。他部会との交流や情報交換。

5. 女性部会

部会長	佐々木 洋子	フュージョン・ネットワークサービス株式会社
副部会長	栗林 真由美	ニフティ株式会社
副部会長	松本 さやか	NTT コミュニケーションズ株式会社

当部会は、インターネット事業の中で働く女性たち自身が、同じ業界の者同士、企業の枠組みを超えて互いの問題や悩みを共有し、情報交換をしつつ成長していこうと開いた部会です。個々の成長が生活者としての女性ユーザーの問題解決につながり、ひいては日本のインターネット全体の発展につながるのではないかと考えております。女性部会内はもとより、他部会との連携を持ち、メンバーの意識向上を目指していきたいと思っております。女性だけでなく男性にも積極的に参加をしていただきたい部会です。

また、最もユーザーに近いインターネット事業者として、セキュリティの知識の向上、インターネットの便利な使い方、インターネットを苦手だと思っている方々への不安解消のための対策、多くの女性たちが使いこなせるように業界として応援することができればと思っております。

本年度は、昨年度同様に外部講師による勉強会を行い、メンバーが発信するミニ勉強会も開催します。昨年度行ったアンケートを取りまとめ、JAIPA 内で情報共有したいと考えております。また、インターネット・女性・働く・意識の向上・自分を磨く・知識等をカテゴリとしてブログを充実させ、幅広く外部に発信していきたいと思っております。

今後の活動予定

- 外部講師による勉強会及び親睦会の開催
- メンバーによるミニ勉強会（主にその会社の内容・自分の仕事）
- 女性部会の主旨に添った施設の見学会
- 女性の雇用をテーマにしたアンケート調査分析
- 各種イベントへの参加
- Blog による情報発信と SNS による情報交換

6. 情報セキュリティ部会

部会長	秋山 卓司	日本クロストラスト株式会社
副部会長	立石 聡明	有限会社マンダラネット

インターネット関連分野の発展が目覚しい中、個人情報漏洩、フィッシング詐欺、重要なシステムの予期せぬ停止等が、重要な問題として認識されるようになってきました。プライバシー情報をはじめとする情報資産を預かり、またはそれら情報の流通にかかわる業者の立場から、安全・安心なネットワーク社会の実現を通して顧客の信頼と期待にこたえていくことが我々インターネットプロバイダーとその関連業界の重要な責務であると考えます。その一方で、社会全体の情報セキュリティの確保には、我々業界の取り組みだけでなく、関連省庁および外郭団体等をはじめとする他団体との協調・協力が不可欠であり、当部会はそれらに対する窓口としても、活動を広げてまいりたいと思っております。

本年度は、サーバを含むネットワーク環境の脆弱性に対する対応・対策・広報と、脆弱性の定量化手法として注目されている CVSS に関する勉強会・研究を行い、当協会で行っている「安全・安心マーク」の診断基準への適用を検討して参ります。また、フィッシング、迷惑メール対策として、フィッシング対策協議会への参加と、メールの送信者認証の現状に関する調査と及び普及啓発活動に取り組みたいと考えます。また、IPv6 に関するセキュリティや、フィッシングに代表されるネット犯罪・悪用への対策も視野に入れ、今年で第3回となるインターネット関連5団体の共催イベントである「SecurityDay」の開催をはじめとして、事業者として望まれる情報セキュリティに関する専門知識の向上と情報交換、および啓発活動を目的として活動したいと思えます。

今後の活動予定

- ネットの脆弱性に関する勉強会の開催
- 脆弱性の定量化方法（CVSS）の安全・安心マークへの適用に関する研究
- メールを送信者認証に関する普及啓発と現状調査
- フィッシング対策協議会への参加
- NGN と IPv6 のセキュリティに関する検討
- SecurityDay2009 の開催（インターネット関連5団体による共催）
- 他団体との連携による情報セキュリティに関する取り組み
- その他情報セキュリティ関連の勉強会の開催

7. 次世代ネットワーク（NGN）に関するワーキンググループ

主査 木村 孝

NGN-WG では昨年度、NTT 東西との間で NTT 東西の NGN を利用した IPv6 インターネット接続サービスの実現方式について公式協議を行ないました。この協議を踏まえ NTT 東西は 5 月 19 日に総務省に対し ISP との接続約款認可申請を行ないました。現在、総務省から本件について意見書募集がされております。NGN-WG ではメンバー間で協議を行ない、これに対し意見書を提出する予定です。

また JAIPA が NTT 東西と昨年来協議してきた IPv6 インターネット接続の案 2 方式の実現にむけて、仕様の詳細を検討する技術検討会を NTT 東西との間で随時開催します。NTT 東西以外のアクセス網に関しては、IPv4 枯渇対応タスクフォースのアクセス WG の運営を通じ、ISP 及びキャリア、ベンダーとの間で IPv6 インターネットサービスに関する情報を共有する活動を行ないます。

そのほか、総務省の ICT ビジョン懇談会基本戦略 WG などの活動を通じ、政府の情報通信政策に ISP の意見を反映させる活動を行ないます。